

補足作業シート記入フロー

①、②、③、④欄

法人として設置している学校ごとに1行ずつ、①都道府県名②設置者名③学校種別④学校名を記入

(以下、学校毎(行毎)に作業)

⑤欄

学校内の施設全て(児童生徒等が日常的に利用しない施設や職員宿舎を除く)が、新築、改築後間もない場合は「点検実施」を記入する。

「点検実施」と記入していない場合

「点検実施」と記入した場合

⑥欄以降の記入は不要

⑤欄

過去3年以内に、学校内の施設について、1棟でも建築基準法点検等を実施している場合は「点検実施」を、建築基準法点検等を実施した施設がない場合は「点検未実施」を記入する。

(点検実施となる場合)

- ・ 建築基準法の義務づけの有無に関わらず建築基準法点検を実施している場合
- ・ 「学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック(改訂版)」(平成27年3月文部科学省。以下「ガイドブック」という。)第5章に示す点検チェックリスト(学校設置者編)(以下「点検チェックリス

「点検実施」と記入した場合

「点検未実施」と記入した場合

⑥欄以降の記入は不要

⑦、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬欄

※手元に建築基準法点検の結果表又は点検チェックリストを準備する。

以下の場合には各欄に○を記入する。(建築基準法点検項目については参考資料を参照。)

⑦欄：建築基準法点検項目3(2)~(4),(7)で要是正と判断され、点検基準日時点で是正が行われていない場合

⑧欄：・ 建築基準法点検項目2(6)~(18)で要是正と判断され、点検基準日時点で是正が行われていない場合

・ 点検チェックリスト点検項目Ⅲ又はⅣ(1)~(7)(ガイドブックP38,39)で専門家により是正が必要

である旨の評価がなされ、点検基準日時点で是正が行われていない場合

⑨欄：・ 建築基準法点検項目4(24),(25),(34)において要是正と判断され、点検基準日時点で是正が行われて

いない場合

・ 点検チェックリスト点検項目Ⅰ(1)~(7)又はⅡ(1)~(3)(ガイドブックP37,38)において専門家に

より是正が必要である旨の評価がなされ、点検基準日時点で是正が行われていない場合

⑩欄：・ 建築基準法点検項目4(6)~(10),(12)において要是正と判断され、点検基準日時点で是正が行われて

いない場合

次ページへ

前ページより

⑦～⑬欄のいずれかに○を記入した
場合

⑦～⑬欄のいずれも空欄の場合

⑥欄に「有」を記入、⑦～⑬欄の
「○」を記入していない欄に
「-」を記入

⑥欄に「無」を記入

⑭欄：平成30年6月に提出した実施計画調査「様式1」「様式2」で平成30・31年度に契約予定としていた非構造部材の対策事業のうち、⑦～⑬に○を付した劣化等に対する安全対策のための事業があれば、その事業数及び補助対象事業経費の計を記入。

⑮欄：平成30年6月に提出した実施計画調査に未計上の非構造部材の対策事業であって、平成30・31年度に、⑦～⑬に○を付した劣化等に対する安全対策のための事業の実施予定があれば、その事業数及び補助対象事業経費の計を記入。

出前にエラーチェック欄（エクセルO列、AE列）に表示が出ていないことを確認の上、提出すること